



3

Decadence

成人向  
Adult Only

# Decadence

## 3

# Wolkenkratzer

未成年者の閲覧・所持・譲渡を禁じます。

覇神門の里外れにある小屋の中、  
掟に背いた者へ陰惨な粛清を行う鬼忍が一人。  
名はザクロ：覇神門の中でも特に奇怪な術を持つ  
蟲使いである。  
その彼の元へ覇神門党首・あやねが現れる。  
ある要人の調教を願いたいという彼女の口からは  
半ばその存在自体が忍の里でも風化しつつあった  
者の名が挙がり男を驚愕させる：

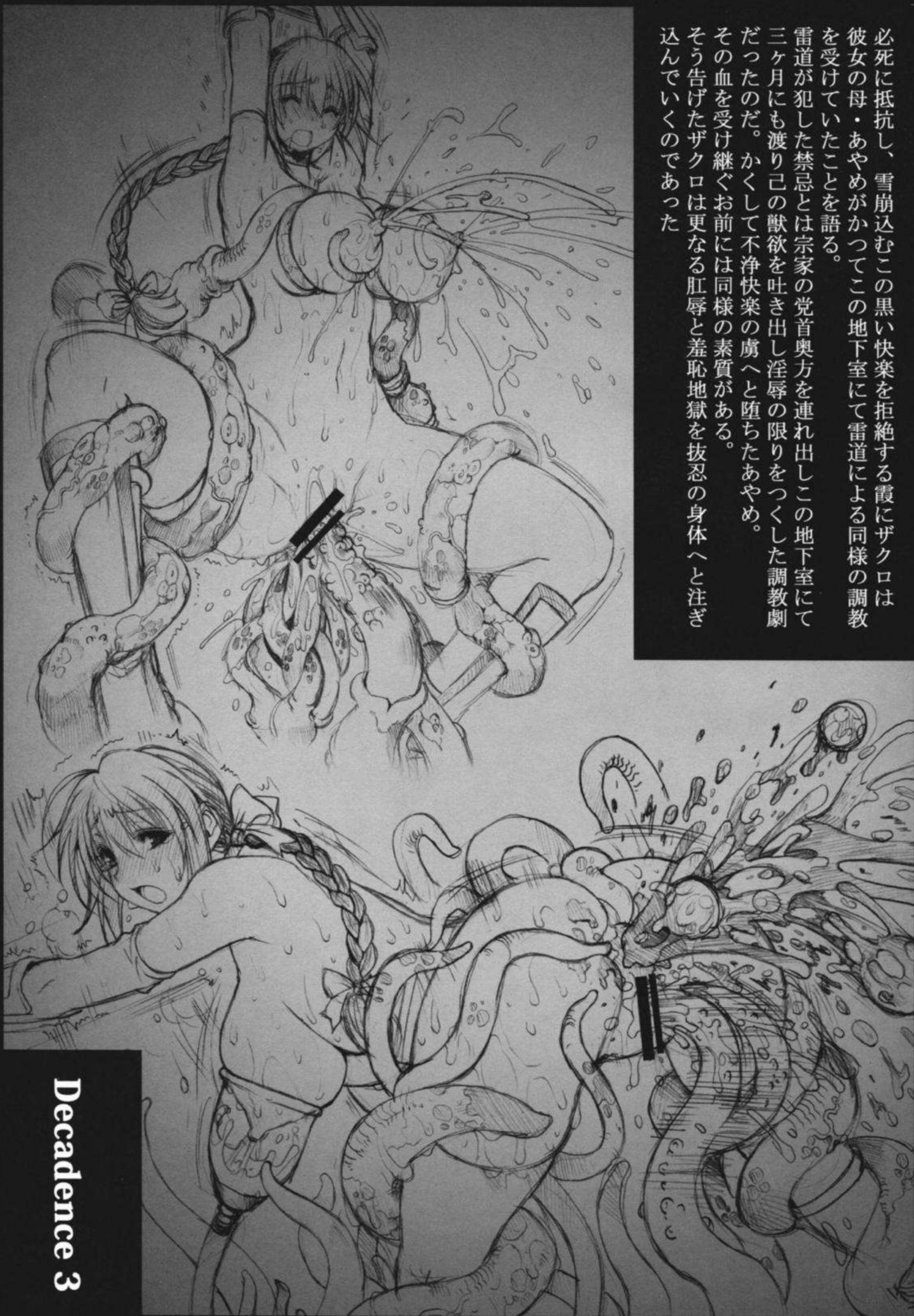
「元霧幻天神流第十八代党首・霞」



かつて4年前  
雷道の叛乱と格闘大会に端を発した忍の里の騒乱から  
抜忍となった宗家の箱入り娘  
かの企業壊滅戦以降、里では長きに渡り行方知れずとされて  
いたそのくノ一は執拗に追うあやねの手により極秘の内に  
捕獲されていたのだ。  
本来ならば宗家へその身を引き渡し、里の賢人会議にて  
その掟破りの抜忍に厳粛なる処罰が下される筈であった。  
：しかし、あやねは従わなかった。宗家と主従の関係にある  
彼女にとってそれは重大な背信行為になるにも関わらず：  
憎悪の対象である霞：その女を絶望の奈落へ墮とす為に。

こうして禁断の地とされる山奥、あやねによる結界が張られた  
深山の地下室で異形の蟲達と鬼忍の手による阿鼻叫喚の調教劇  
が始まった。  
それは霞が生来二十一年間経験した事のない悪夢の始まりだった。  
蟲術を使った非現実のような責め苦・搾乳・浣腸・強制排泄による  
肛辱調教の羞恥とその背德的快感：地下に木霊する絶望と哀願の声  
不浄の飛沫が滴り汚塊の落ち潰れる音が鳴り響く。  
次々と行われる変態的行為で身体に刻まれていく不浄の快樂  
それは霞の拒絶する心とは裏腹に身体の奥深くへ徐々に：そして  
確実にドス黒いその異常快樂の感覚が蝕んでいった。

必死に抵抗し、雪崩込むこの黒い快楽を拒絶する霞にザクロは彼女の母・あやめがかつてこの地下室にて雷道による同様の調教を受けていたことを語る。雷道が犯した禁忌とは宗家の党首奥方を連れ出しこの地下室にて三ヶ月にも渡り己の獣欲を吐き出し淫辱の限りをつくした調教劇だったのだ。かくして不浄快楽の虜へと堕ちたあやめ。その血を受け継ぐお前には同様の素質がある。そう告げたザクロは更なる肛辱と羞恥地獄を抜忍の身体へと注ぎ込んでいくのであった





# 霞専用便所

んんう

んぐっ…



お前の大事な身体に十分な滋養と水分を補う為の大事な「食事」なのだからなあ…霞いお前専用の特別製だぞ？

…んぐっ…

フフフ…どうだ？  
少しはそいつの味に慣れてきたんじゃないのか？

んんう

んんう…んんう

遠慮せずにたっぷり飲み込むがいい



ほおれ、こうして前後に繩を引かれると股にこすれる玉が一つ通過するたびにお前の下半身に走るこの快感が堪らないのだから？

お前の陰部から零れ落ちる淫汁で又メったこのビーズ股繩の味は？お前はこの責めがお気に入りでからのう・・・

先程からワシに気づかれぬ様わずかに腰をずれ動かしながらこの快楽を貪ろうとしていたのだから？ いけない娘じゃ

まったくいやらしい奴めワシが気づかんとでも思ってたか？

ああっ...だっ...だめえっこんな激しく...こすったらあっ あっあああっ!!

やっ...やあっ...やめてえっ!!

ああっ



ふははははっどうした  
イキそうか？イキそうなのか  
淫乱クノ一めっ!!!

ああっやっ...  
だっだめっ...いっ  
イクッ...ああっ

いいぞ そらっイけっ  
イってしまえ!  
快樂に身を委ねろ霞

いっちやう  
ああっああ

あああ  
あああ  
あああ  
あああ  
あああ  
あああ



ノッ  
アアアア



かはっ...ああっ  
ハアアツ...あ

ハアアツ...  
ハアアツ...ツ



はあっ

もうすっかり快楽に  
逆らえない体質になった  
ようじゃないか 霞！

はああっ

お前の口がなんと云おうが  
身体の方が分かっている筈だ…  
もはや痩せ我慢も限界だとな

はあッ

はあッ

ほびッ

お前自身としてワシの調教で  
何度あの排泄絶頂を味わって  
きたか…忘れた訳ではあるまい

尻を封じ排泄の自由を奪われ  
はや一週間…このか細い身体に  
ために溜め込んだこの糞便を

せむせむ

残らず全て  
吐き出したかろう!!!

あぐろろろ

んうあああーっ!!

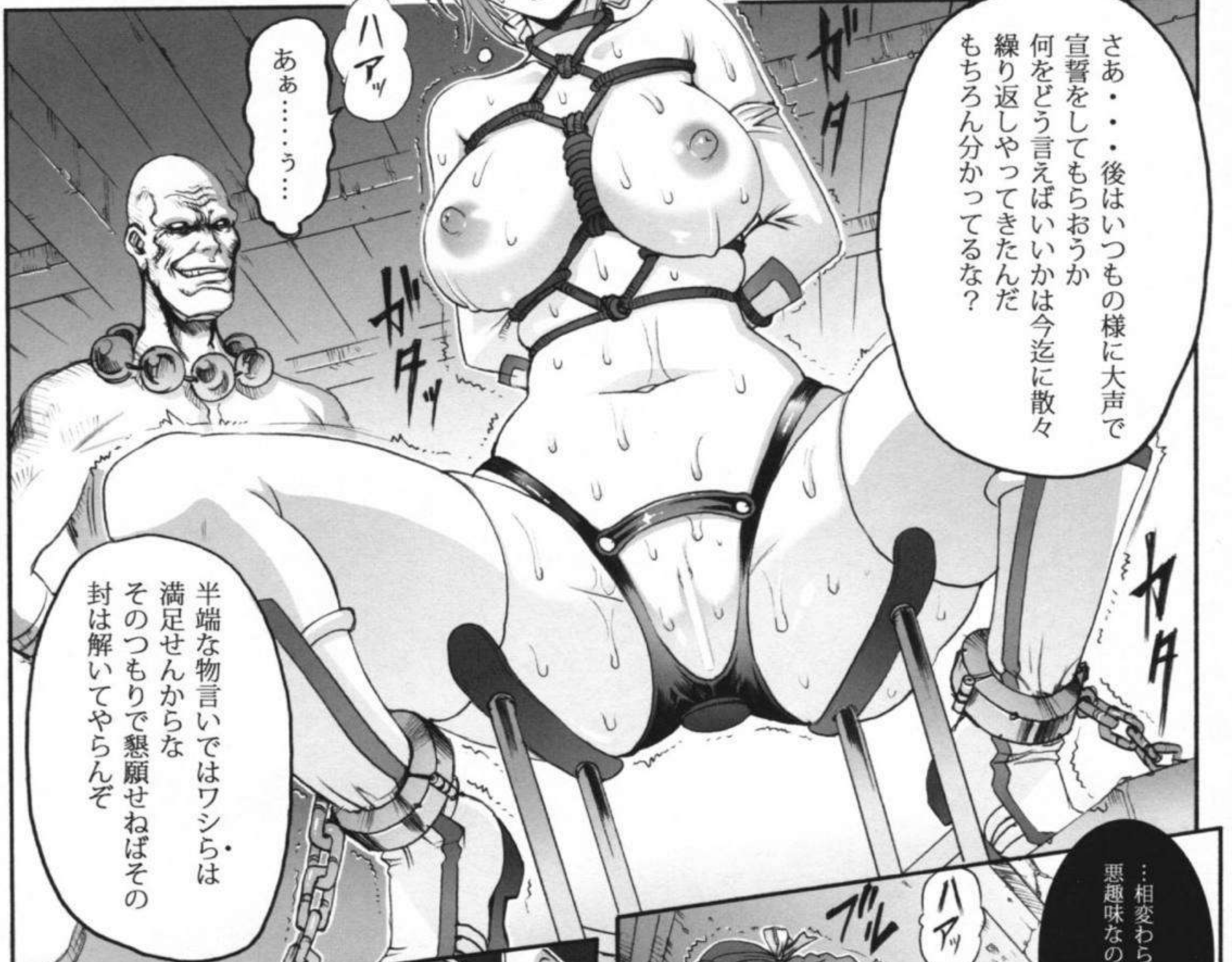




アッ



フフフツ  
やはりその場所はお前に  
よく似合うな 霞...



さあ・・・後はいつもの様に大声で  
宣誓をしてもらおうか  
何をどう言えればいいかは今迄に散々  
繰り返しやってきたんだ  
もちろん分かってるな？

ハアッ  
ああ.....う...

半端な物言いではワシらは  
満足せんからな  
そのつもりで懇願せねばその  
封は解いてやらんぞ

相変わらず何て  
悪趣味なの...



ハッ  
ザ...ザクロ様...  
か 霞は今...

い...一週間分のウンチを...  
脱糞を我慢しています...  
それは...霞が勝手に...



勝手にご主人様の許可なく  
プリプリと粗相しないようお尻に  
封をして頂いたからです...



ううう...

いいぞ...それでいい  
その哀願する様も段々と  
板についてきたじやないか

くっ...う  
う...う...

さあ、どうした？  
さっさと続けたらどうだ  
変態くの一？



ウ...ウンチするのが大好きな  
変態くの一の霞はっ...ごっ  
ご主人様のお許しを頂けず  
一週間も脱糞でイかせて  
貰ってませんっ

もっ...もう限界なんですっ  
このはしたないスカトロマゾ  
豚にお情けをお願いしますっ  
か...霞の一番恥ずかしい姿を

ブルブルブルブル

ウンチするところを見てくださいつ  
はっ早くっ...早くお尻の栓を抜いてえっ  
うっウンチっ...ウンチしたいっ!!!

お願いですっ  
ウンチっ...ご主人様の前で  
ウンチさせてくださいっ!!!



よおしよし

いい娘じゃ  
クツクツク

...

クヒヒ

ゲへへへ

ククク...

クハハハハッ  
おい聞いたか？

ああ、  
聞いた 聞いた



これは驚いたぜ  
まさか本当にこんな台詞を  
口にするとはなあ

俺達の知らない間に  
随分とはしたない娘に  
なったもんだな



ゲへへへ...  
ウンチしてる所を  
見て下さいだつてよ  
そそるねえ

そこまで言われちゃ  
しつかり見届けんと  
いかなあオイ

...う・嘘...

すげえ本物だぜ...  
しかもこんな変態だった  
とはなあ...恐れ入ったぜ

ああ...あ...



面白いものがあると  
聞いて来てみればまさか  
これ程のものが用意されて  
いようとは...

流石はザク口殿



いやー驚いたよ  
霞ちゃんウンコを漏らす  
のが大好きなんだって？

可愛い顔してるのに意外だなあ  
しかも見られながらヒリ出すのが  
興奮するなんて…  
いやはやこれ程の変態性癖とは…  
人の本性は見かけによらんねえ

…ち…違うの…

わ…私…

無理やり言わされて…

いやいや  
照れんない

こっこれは  
…そっその…

ゲへへへ  
どうした？

ああ…や…  
ああああ…

糞を懇願する声を  
聞かれ！  
はしたない本性を  
晒し！

あんなに必死に  
懇願されちゃあ  
こちらも見逃さ  
ないようしつかり  
しないとなあ

興奮しているのか  
霞い？

お前の身に宿る  
マゾの血が  
疼くのだろう？



この一週間にわたる  
糞穴の戒めを解き放ち  
思おう存分にその腹に  
溜まった物を吐き出さ  
せてやろう

さあ それでは  
始めようか...

ズクッ



やっ...  
まっ待って

ゲへへへ...  
淫乱くの一の脱糞劇場  
楽しませてもらうぜ

待って！お願いっ...  
お願いですっ！！  
こんな大勢の前でなんて  
出来ないっ

ガッ  
ガッ



あっあああ  
あひいっ

ポッ  
ズク





あああ  
あああ

グッ

グッ

グッ

ぐははははっ何てでけえ  
しかも下劣な音色の屁だ  
これが女の屁か？

あああ  
あああ  
やあつ...

ヒヒツ無理もねえ  
一週間も溜め込んでケツに  
栓されてりやなあ



臭いも濃密で  
たまんねえぜ

さあ早いとこ  
この奥にあるモン  
出しちまいな

グッ

グッ

グッ

いやあああああ  
聞いてやだめえっ!!

グッ



なあに 無駄な足掻きよ  
こいつをくれてやれば  
嫌でも吐き出したくなるうて  
何せ霞の大好物だからな

しかも今日の浣腸は  
一味違う特別製だ



んぐつ...うう  
チツまあだ出さねえか  
こりや中々しぶとそうな  
括約筋してやがるぜ

フウウツ...  
んうつ...ううつ



なあにお前ならばきつと  
気に入るに違いないぞ  
たっぷりと味わうがいい

ククク...こいつの効き目に  
どこまで耐えられるか...  
楽しみだのう

ひいっ



う...嘘っ やっ...やめて  
浣腸はゆるしてっ

おっお願いっ 今そんなの  
入れられたらっ...私っ...  
お願いですっ許して下さい...

んああっ...あっ  
うあああああ



フフフ…さあて  
ここからが見物だぞ

んんっ…んんん  
ぶぶぶ…ぶぶぶ…

あぐうっん



…!?  
ふえっ…え

?

くううっ



どうやら…  
始まったようだな

ふあ…

あ…

ああっ

ああっ……  
ああ……あぐうっ

ふあああっ……ああ

あああっあ

うあああああ

お尻が  
お尻

お尻が  
お尻が  
お尻が

はっか  
はっか

どうだ？尻が・・・  
肛門が痒いか？

かはあつ

猛烈に痒かろう霞！

そのデカ尻を振り乱しても無駄だ  
拘束で身動きを制限されているお前に  
その痒みを散らす術はない

あああつ

摩り下ろした山芋に麻痺蟲の  
体液を混ぜた特別の代物だ  
肛門および括約筋の周りに地獄  
とも思える痒みが生まれ  
掻き筆らずにはおれまいて

苦しいか？

クククク この痒み責めに  
耐えられる女はワシの知る  
限りおらんからなあ  
お前とて例外ではなからう

うぐううつ

ああああつ・・・あぎつ  
あああつ  
うあああ

んふふふふふ  
んふふふふ...

んふふふふふ  
んふふふふ...

んぎいっ  
おっお願い…

あ…頭…んくうっ  
あ…頭がおかしく  
なっちゃうっ

くははは見てみる  
限界に迫った排泄欲と逃げ場の無い  
搔痒感に蝕まれた肛門がいやらしく  
ヒクついておるわ  
素直にしておけばこんな辛い目に  
遭わなかったのなあ

も…もう許して  
苦しいいっ…

だが今からその二重苦悶の  
地獄からこいつでお前を  
極楽へと誘ってやろう  
こいつは効くぞお…

これで尚糞門の決壊を  
耐えられるのであれば  
見上げた気力だがな

ククク こいつで一掻き  
でも味わったら最後…

この刺激に贖う事は

出来ん!!!

あひっ…

ンヒイイツ

フハハハハハッ  
どうだ？お望みの猛烈な痒み  
からの開放は？気持ち良からう

一掻きする度に肛門から  
脳天を穿つような快感が  
身体を走り抜けていくの  
だからなあ…

あひいっ  
おああっあああ

そろらあ ヒヒヒ  
どんだん肛門が  
緩んできたぞお

このまま糞をヒリ  
出すまで徹底的に  
掻き回してやるぜ

あはああああっ  
ああんっあがああ

ダ…ダメツ  
これ…

きつ…気持ち良過ぎて  
力がっ…  
身体から力が抜けるっ

あひっ

おおおっ…ん  
あああああっ

んはあああっ!! ああ  
いやああつもつ漏れるっ

おひいついいい…  
イイツあああつ!!

クハハハツ見ろ  
ケツを穿られながら  
小便垂らしてやがるぜ

どうだ?  
病みつきになるだろう



熾烈な痒みで焼かれた  
その糞門はもはや理性の  
力では抑えられまい

んあつはあああ  
うあああああつ

ジュジュジュ



んほおっ!!

んおおおっ

ああっ...もっもう  
おっ...お尻っ...  
お尻に力が入らないっ

い...今...  
今お尻から引つ掻き棒を  
抜かれたら...  
お腹の中に溜まった物が  
全部溢れ出ちゃうっ  
またあの惨めな思いを...

ああっいやっ  
こんな...  
こんな大勢の  
前でなんて

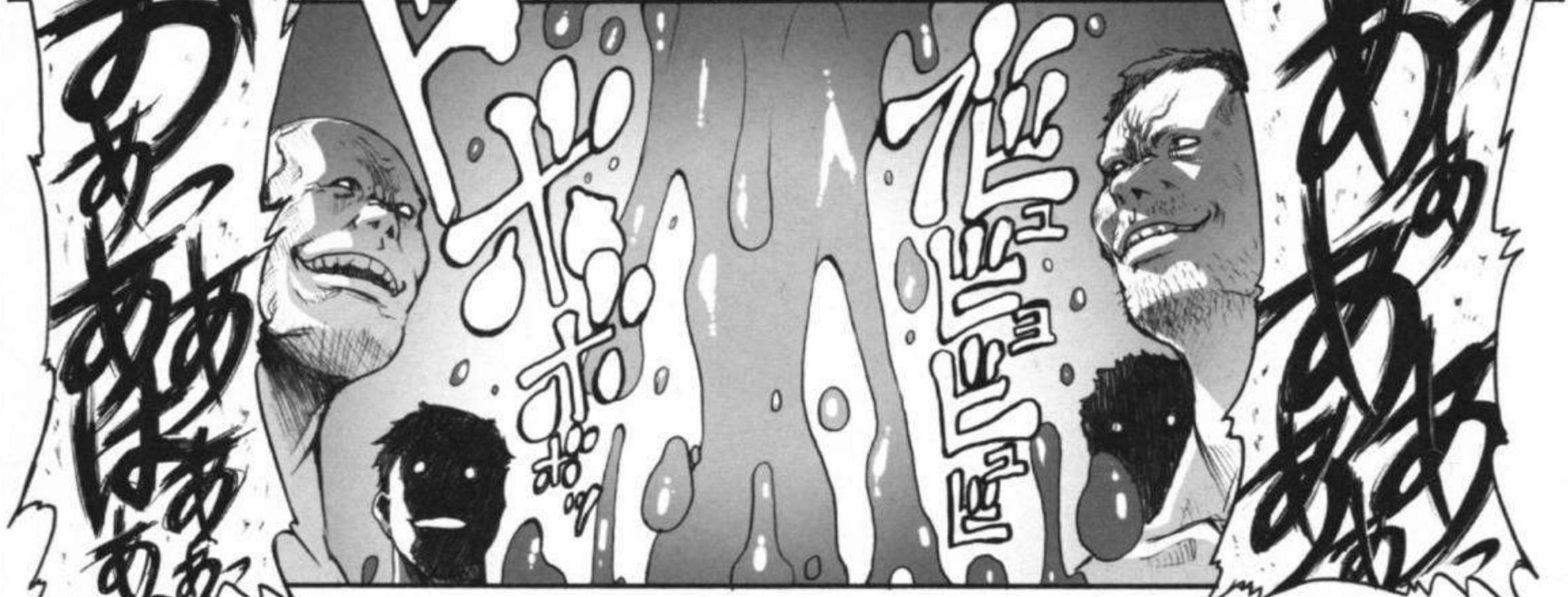
んああ...見...  
見ないれっ...

お...お願いひっ...  
見ちゃらめっ...!!

ああっ...出るっ  
...出ちゃうっ...  
漏らしちゃうっ!!

わっ私の...  
私の恥ずかしい所...  
ウ...ウンチするの  
晒すなんて嫌あっ!!

さあ見せてもらおうか  
変態スカトロマゾ豚の  
痴態全てをなあっ!!



ゲハハハツ 始まったぜ  
若き元十八代目党首様の  
脱糞シヨうだ!!

うあああつやあ...あ  
いやあああつ

んおつ...おおつ  
おあああつはあ  
ああああああ

これまた物凄え勢いで  
出てきやがる  
おまけにいい乱れっぷり  
ときたもんだ

どうだ?ケツの痒みに  
肛門から噴き出る糞は  
よく効くか?

グヒヒヒツ 屁が混じって  
えらく下品な音色を奏でるじゃ  
ねえか 霞ちゃんはお



きょ...きょ...  
らめえっ

あぁ...ふ...  
あぁ...ふ...  
あぁ...ふ...  
あぁ...ふ...

はあっ...はあっ  
あぁ...はあぁ...

はあっ...はあっ  
あぁ...はあぁ...

んおお...  
はひっ  
あうう



あおおおつ...  
おはあああつ!!!

うあああ

わわあ

ああつ お...  
おほおおつお

こんなはしたない姿を晒して...  
死ぬほど嫌なのに!  
死ぬほど恥ずかしいのに!!

ああつ...こっつこんな...  
こんな大勢の前で私つ...  
一週間分のウンチを...

ウンチするのを...  
息むのを止められないっ



途切れないっ

おおっ

太いっ!

んぐうんっ

う...ウンチが

おはっ  
おはっあああん  
んほおっ...おおっ

固SSU!!



あああ かはっ

はひいっ...

頭がつ...快感で  
塗り潰されるっ!!



ひり出す度に肛門が  
擦れて...痒みを散らす  
掻き塗るかのようなこの  
感覚っ...

この極限の便意から  
開放されていく感覚っ

んぐうんっ

んんっ

んおおおっ  
おおおーっ!!

おひいっ

なんて太くて長え糞だ  
こんなの女で初めて見たぜ

ケツから尻尾生やして  
みてえだな  
どんだけ溜めてやがった  
んだ?こりやあ

グへへへまっただ  
それをひり出してるのが  
宗家のお嬢なんてなあ  
たまんねえよ

糞を垂れながら  
絶頂寸前みてえじゃ  
ねえか?霞い

いひっ...いっ  
...いくっ

はああっ

んひいっ

い...いっ...  
イクっ...

いいぜ 変態らしく  
糞でイツちまいなあ

もう  
らめっ

おらっ イけっ!!  
イツちまえっ!!  
この変態くノ一っ



ヒヒツ 一週間ぶりの  
脱糞アクメの味はどうだ  
タマランかっただろう？

んんうっ  
ふうううん

おおおおっ…

見事なまでの変態っぷり  
だったぜ  
まさかここまでマソに  
仕上がってるとはな

あふっっ

はひっ







ヒヒツ 一週間ぶりの  
脱糞アクメの味はどうだ  
タマランかっただろう？

んんうっ  
ふうふうん

はひっ  
ふうふうん

おおおっ…



見事なまでの変態っぷり  
だったぜ  
まさかここまでマゾに  
仕上がってるとはな

あふうっ

はひっ

オイ 早いとこ台座  
から降ろそうぜ

理性は拒絶しつつも既に  
被虐快楽を貪欲に貪り堕ちる  
その身体の素質……

流石はあやめの娘  
期待以上の仕上がりよ

今度は俺達がたっぷり  
可愛がってやるぜ

ふあああつ……ああつ  
やあああーっ!!

オホッこりやすげえ  
母乳が噴き出すぜ

イキイキイキ

あひいつ

ひいつ

へへへ便意は収まっても  
ケツの痒みはまだとれない  
のだろう? 安心しな  
俺がちゃんと面倒みてやるぜ

この天性の素質そのものがあの女の  
血統による体質の継承であるのならば  
……あやつもまた同様に……

そろそろ……次の  
ステップに入るとするか

お、ザクロ殿?  
如何なされた

なあに……この本当の  
楽しみはまだまだこれ  
からよ……

だが楽しむにはまず  
準備というものが必要  
になるのではなあ  
その仕立ての為に  
この場を空けるゆえ  
霞の面倒見をお前達に  
少しの間任せる

キーン

それが最高の逸材であるのならば  
味わい尽くす為に最高の形で無けれ  
ばなるまいて……  
例えそれに必要なものが何であった  
としても……  
そうよ……必ずこの手に……そして

ただし くれぐれも壊して  
しまわぬよう心がけよ……  
やさしく・エグく丁寧に・クドク  
しつこく面倒を見るのだぞ

そりゃ勿論承知しており  
やすぜ：ザク口殿  
タップリ可愛がってやりますよ

バァン

ククク  
頼んだぞ

しかし一体ザクロ殿は  
どこへ向かわれたのだ？

さあな  
詳しくは知らんがなんでも  
今より更に愉しむ為の準備  
があるのかなんとか

さあ遠慮せずに  
タップリと  
吐き出すがいい

あひいっ

フヒヒヒ…そおら  
お代わりだ霞…  
まだまだ出して貰うぞ

ヒヒツ俺は今でも十分  
楽しませてもらっているぜ

ギョッ  
ギョッ  
ギョッ  
ギョッ



まさかこんな形で  
あの霞のお相手出来る日が  
来るとはねえ



美しい女が羞恥極まる行為を  
晒し恥辱に溺れ歪む様・・・  
よがり狂う姿はいつも見てもいい  
ものだ・・・なあウラガ?

クツクツク  
まったくだ・・・



どうしたまた  
催してきたか？

しょうがない奴だ  
もう少し我慢出来んのか  
このスカマソ豚め

そら見てみる  
また糞をひり出しながら  
ヨガリ狂ってやがるぜ



どんだけしゃぶり尽くしても  
飽きる気がしねえよ

ふぁぁぁぁぁ  
あぁぁぁぁ

ヒツヒツヒ まさに  
俺達向けのお姫様だな霞は



おい ここまでの  
ちゃんと記録してるか

ああ勿論録つてあるぜ  
隅々まで余す所なくなあ

いけない抜忍お嬢様の変態お仕置映像  
こりや間違いない永久保存版だぜ



どうだ？腹の中で渦巻く  
浣腸液の味は…早く  
吐き出したかろう？

さあそれではお持ちかね  
人間糞尿噴水のお披露目と  
いつてみようか 霞？

こりやザク口殿には感謝  
してもしたりねえな



しかしザク口殿は更に楽しむ為とはいえ  
何を準備をする為に出て行かれたのだ？  
これで尚物足りんというのか あの人



いいじゃねえか  
どっちみち戻ってくりや分かる  
それまではこいつでしっかり  
楽しませて貰おうや



さあな 人の欲望は底なしだからな  
まったく分からんがザク口殿の事だ  
また我々を驚かせてくれる何かが  
あるんだろう



## あとがき

こんにちは。初めての方ははじめまして。サークルWolkenkratzerの梵天鴉です。  
この度はDecadence3を手にとっていただきありがとうございました。約4年ぶりのD○A本になりましたが如何だったでしょうか？といたしますかもう4年も経つんですね～。早いものです…てか、ホントに早いっ！1年に1冊ペースのオイラだと間に3冊挟むだけでこの年月。もはや前回の内容を覚えてる方がいらっしゃるのか不安になる期間ですねw  
前作にあたるDecadence2の同人誌を持ってるor知ってる方がどれだけいらっしゃるのか気になってしまいます。自分ですら細かい部分が曖昧になっていて、昔の同人誌を引っ張り出してきて確認しながら描いてたくらいだったりします。なので今回あらすじも字数がかなり多め…。知らない人にも前回までの内容が分かるように書いたつもりですが文章だらけな上に自分文才ないので心配です。じゃあ1と2の再版は？って事になりますが正直2で4年前、1で7年くらい前の原稿になるので自分の絵に精神が耐えられそうにありませんw 3を描いてた時ですら1&2見直して色々悶絶していたくらいなので…

さて、今回の内容は如何でしたかね。相変わらずSKTRってますねー。羞恥快樂責め好きとしてはある意味究極的な位置にあるシチュなのではせない要素になってきてますね。近年。本当はそれ以外でも濃い内容にしたいんですけどね。そこに至るまでの過程を濃厚にしたいんですけど、どうも中途半端な形になってしまってるのが悔しいです。何かと欲張りなのでアレも入れたいコレも入れたいぞってなった挙句に一つ一つのネタに対して尺を掛けたくなくなってしまふ。それで無駄に長くなり、結果あまり印象が残らないという風な気がしてなりません。何か自分の欲求に己のスキルが未熟で着いて来れないといたしますか自分を満足させきれないといたしますか。本を作る度に前よりも良いものをつくれるよう心がけて頑張っていくしかないですね。あとこのシリーズもまだ続く予定です。まだまだ責め足りないですしー！この話の続きはこの後のページにちょっとだけ予感ができるくらいのモノを描いておきました。フフフ、どうなっていくんでしょうねえ…このシリーズ…大体3年おきに出てること考えると次にこの続編もまた3年後…大丈夫なのか…次の本は…超昂閔忍本描きたいなー…また忍ものー オイらくノーに弱い初。

感想を送ってくださる皆様ありがとうございます。いつも一人なんで心が折れそうになる時に凄く励みになってます。長い期間で一つのモノを描いてるので結構精神的にもかなりしんどかったりしてそういう時ホントに救われておりますよ。

最後になんと！今回はオイラの同人誌では珍しくゲスト様がいらっしゃいますよー。  
エレクトさわる様にショート漫画描いていただきましたー！ワーワー  
商業でも絶賛ご活躍中で御多忙の身でありながらの寄稿ありがとうございました。  
素晴らしく濃いー2Pをお楽しみください。それではまた次の機会まで御機嫌ようであります！

**← NEXT  
GUEST**

**エレクトさわる様**



お兄ちゃん：霞は：  
こんなに変態な  
女の子に  
なっちゃったんだよ

朝神門男衆に  
捕らえられて：  
色々と：エッチなこと  
させられちゃった：

男の人の：おちんちんを：  
おっばいで：  
お口でいっばい奉仕するの。  
とろとろで：  
白くてちよつと黄ばんだ：  
男の人の精液：

それでね、みんな私の  
オシリの穴ばかり  
いじってくるの。  
いやらしくなるお薬を  
全身に：お尻の穴に  
丹念に塗られて：

臭いけど：  
何度も何度も  
それを飲まされて：  
大好きになっちゃった

指で：  
いやらしいパイプで：  
時には舌を入れられて：  
お尻の穴ばかり  
ほじられちゃったの

そうしたらね：私  
お漏らししちゃった

こんな大勢の  
男の人の前で：  
ウンチ：  
漏らしちゃった

んまおまおま  
出るのっ  
ウンチ  
ウニ

ほおひまおま  
見ちゃ  
らめえん

すっごい恥ずかしかったけど、  
パンツの中に漏らした  
ウンチが暖かくって、  
変な気分になっちゃった。  
気持ちいい：って。

それからね、私…  
みんなの前で、私…  
いっばいっばいっばい  
ウンチするの。ばい  
粘土の高い液体を  
お尻の穴から入れて、  
お腹ぼんぼんにして…

初めは  
恥ずかしかったけど、  
段々みんなに  
見つけたいなって  
思っちゃった。

そしたらね、  
それがどんだんお腹の中で  
固まってるって…  
ご飯食べてなくても、  
ウンチが出るみたいなの。  
すっごい気持ちがいいの。

お兄ちゃんにも…  
見てほしいな。  
霞がウンチする所…

こんな事するなんて…  
変態な女の子だ…  
思っても知れないけど…  
お兄ちゃんなら…  
受け入れて…  
くれるかなって…

いっばい…  
エッチなこと  
されちゃったけど、  
私まだ…処女…なんだよ。  
こんな変態な霞だけ…  
お兄ちゃんに…  
霞のはじめて、  
あげちゃいたいなあ…

大好きだよ、  
お兄ちゃん♥

油断大敵だぞ  
それでも覇神門当主か

あぐうつ

どうだ初めて味わう  
麻痺蟲の毒牙は？  
なかなか効くだろう

あやね？

うぐつ……

い……一体

一体なんのつもりなの？……はあつ……  
ザクロツ……この私に……う……裏切りなんて  
馬鹿な真似を……たつ……  
タダで済むとは思ってないでしょうね

クッククック お前の口から  
裏切りという言葉が出るとは  
笑わせてくれる

宗家を騙した上に霞投獄を  
隠蔽した挙句  
私念に任せた復讐を行って  
いるお前は一体何だ？

それが何だというの

なあに……  
ワシもお前同様に自分の願望にただ  
素直に従っただけの事よ  
あの美しき生贄を最高の形で味わう  
為にはどうするべきか？  
何が必要なのか？ってな

そうしたらならな・・・  
気が付いたのだよ

あの天性のマゾ女  
あやめの血を受け継ぐ  
女がもう一人いる事を

!!っそ...そんな事をして  
ただで済むと思ってるの

今更宗家に何が出来る？  
あの甘ったれた長男に離反の  
波が広がりつつある覇神門を  
律することなど出来まい

現にその覇神の里を宗家に歯向かわぬ  
ように押さえ役を担ってきたお前が  
姿を消したとなれば・・・  
宗家はもう組織としての体を保っては  
おれんだろう

覇神の当主である私が姿を消し  
たら宗家は一斉に動き出すわよ

宗家の人間に復讐を思う  
覇神門は何もお前だけじゃ  
ないのだよ

しかも偶然にも転がり  
込んできたこの機会・・・  
美しい二匹の獲物を同時に  
手に入れるという好機を  
ワシが見逃すと思うか？

宗家奥方の血を引く女二人  
この純血を淫獄の深淵に引きずり  
込み汚辱の色へ染め堕とす  
それは甘ちゃん宗家頭首への  
見せしめと共に人質という絶対的な  
切り札となる

そして天神門の支配体制は滅び  
今迄闇で生きる事を強いられ  
その境遇に辛辣の思いで耐えて  
きた我等覇神門による時代が幕を  
開けるのだよ・・・どうだ？  
素晴らしいとは思わんかね？



## 奥付

発行	Wolkenkratzer
著者	梵天鴉
発行日	2011年 12月31日
印刷	プリンティングイン株式会社 様
連絡	bontenkarasu@hotmail.co.jp

# Wolkenkratzer

013

